

4 / 7 今泉文彦石岡市長が退任 新庁舎と石岡駅の建設、ふるさと学習の推進にまい進



今泉市長が、3月18日に健康上の理由で石岡市議会に退職願を提出し、4月7日に退任しました。1期目（平成25年11月6日～平成29年11月5日）を務め、2期目（平成29年11月6日～）途中での退任でした。

退任の日、市役所1階のメロディアスホールに集まった職員や市民を前に、今泉市長は6年半を振り返り「道半ばの辞任ではありますが、これまで支えてきてくださった方々に感謝をお伝えしたい」と話しました。

今泉市長は、1期目に「ふるさと再生」、2期目に「みらい創造」を掲げ、子育て支援、教育改革、雇用・産業振興、観光交流、安全・安心のまちづくり、生涯現役などを実現するべく、各施策を展開。パーキンソン病を患いながらも、新庁舎の建設、石岡駅周辺整備、ふるさと学習の推進などに力を注ぎました。

4月26日に行われた石岡市長選の結果は市ホームページで確認できます。広報いしおか6月1日号でも掲載予定。

3 / 9 子どもたちの通学を見守る 新入学児童に黄色い帽子・防犯ブザーが寄附されました



子どもたちの安全を守りましょう



交通事故から子どもたちを守るため、市内の企業や団体から入学祝い品として以下のものが贈られました。

これらは小学校を通して新入学児童に配られ、子どもたちの登下校時の安全を守ります。

〔寄贈者・敬称略、写真左上から時計まわり〕

黄色帽子

9日：新ひたち野農業協同組合

（富田修一組合長）

26日：やさと農業協同組合

（浅野建二組合長）

防犯ブザー

30日：(株)常陽銀行（椎根哲也石岡支店長）

4 / 1 静岡市出身の牧田さん
「茅葺きの文化を残したい」



令和2年度地域おこし協力隊として、牧田沙弥香さん（26歳・写真右）が根本博文副市長から委嘱状を手渡されました。牧田さんは、東京藝術大学大学院卒で、建築や現代美術を学び、今後は茅葺職人の育成を行う常陸風土記の丘で勤務し「茅葺き技術の習得と活用」をテーマに活動していきます。「茅葺きの文化を自分なりに吸収して、筑波流の職人の貴重な技術を継承できるように努めていきたい」と抱負を語りました。

2 / 12 地域づくりの功績を称えて
前島氏と田崎氏を表彰



今泉市長・田崎氏・前島氏・大井川県知事（写真左から）

前島守雅氏と田崎徹氏が茨城県市長会民間自治功労賞を受賞しました。前島氏は、25年以上茨城県心身障害者福祉協合理事として障害者福祉事業に尽力。障がい者の地域社会参加の支援や、生涯を通してスポーツを楽しめる環境づくりに貢献しました。田崎氏は市教育委員会在職時に文化財業務に携わり、文化財保護体制の基礎を構築。また昭和55年には婆良岐考古同人会を設立し、県における考古学研究の進展に貢献しました。

4 / 7 市内 523 人の児童が入学
おめでとう新入生



風に舞う桜吹雪が美しい4月7日、市内19の小学校で入学式が行われました。先月の卒業式同様、マスク着用で来賓と在校生の出席はなく規模を縮小しての入学式。子どもたちの表情は晴れやかでした。今年、一番少ない新入学児童数の小学校は、北小学校の4人です。【写真前列右から】浅野龍空さん・稲山蒼さん・川上和正校長先生・海老根裕子先生（1学年担任）・中村和愛さん・藤本桃慕さん ※後列は新入学児童保護者。

4 / 3 B&G 財団が海洋センター
修繕助成に 1,300 万円



▲菅原悟志理事長から決定通知書を受け取る今泉市長

B & G 財団（ブルーシー・アランド・グリーンランド財団・前田康吉会長）は、ポートレースの収益金で全国480市町村に地域海洋センターを建設し、自然体験活動を通して、子どもから高齢者まで健康づくりを進めています。令和2年度は、27道府県38市町40のB & G 海洋センターに、総額6億980万円を助成し、石岡市でも1300万円の助成を受け、今年度、石岡市B & G 海洋センターの施設照明のLED化工事を行う予定です。